

タイの歌謡曲に姿を変えた伝統文学

コースイット・ティップ・ティエンポン

序文

無数にあるタイの歌謡曲の中で、文学作品から影響を受けた曲は、時代を超えたイメージを持つている。なぜなら、その曲に影響を与えた文学作品はそもそもタイ社会において、幅広く知られている作品なのである。特に近代歌謡曲に姿を変えた文学作品は、長年高く評価されてきた。主に韻文で書かれた伝統文学なので、音楽に使うことにあたって芸術としてより広く鑑賞できる。

タイでは文学作品の影響を受けた曲は古くなり、頻繁に生み出されている新しい歌謡曲に埋もれながらも、有名であり続ける曲が少なくない。そう言った曲の由来を知らない人達の中でも、とりわけ若い世代の割合は高いだろうが、ほとんどの曲は馴染みのある調べを持ち、あるいはどこかで聞いたことがある歌詞という印象を与えるので、言ってみれば、「なるほど」と反応する人はたくさんいるはずだ。

タイの文化省芸術局が、二〇〇七年に刊行した『バンドゥリー「文学と歌」その二〜タイの歌謡曲におけるタイ文学』(ปณิธาน : วรรณศิลป์ในเพลงไทยโบราณ) によ

ると、文学作品から影響を受けたタイの歌謡曲が合計六十七曲あり、その影響の受け方は四つある。第一に文学作品の文章をそのまま歌詞として利用した曲、第二に文学作品の文章を利用して言葉を少し調整した曲、第三に文学作品の文章を歌詞の一部として採用し追加歌詞をした曲、最後に文学作品による発想に基づき作詞した曲である。それぞれの曲は複数あり、ここでは一九五〇年代から一九六〇年代にかけて作られた代表的な曲を順に紹介する。

様々な文学作品の影響を受けた歌謡曲

一. 文学作品の文章をそのまま歌詞として利用した曲

文学作品そのものにメロディーを付け、曲にしたものはいくつかある。典型的な例として、タイ語訳された英文学である『恋』(ความรัก)とタイ文学由来の『タイは力を合わせる』(ไทยรวมกัน)という曲が挙げられる。

まず、『恋』という曲は、ラーマ六世が一九一六年に翻訳し



たシェークスピアの『ヴェニスの商人』の内容の一部を抜き出し、後に歌謡曲になったものである。この部分はタイの伝統的な詩形に綺麗に当てはめられ、バサーニオがポーシャの絵が入っている箱を選ぶシーンを表す二節である。詩・歌詞の日本語訳は次の通りである。

恋よ恋。

初めはどこから生まれてきたのだろうか。

心の中に丁度芽生え始めたのだろうか。

頭の中で始まるのか、よく考えよう。

最初に生まれた時、どうなるのか、誰が知っているのだろうか。

隠さずに徹底的にしつかり教えてほしい。

誰がその恋を惜しんだり、大切にしたりするのだろうか。

誰か答えてくれたら、感謝するよ。

答えよう、答えよう。

恋は会えば生まれるもの、それほど不思議に思わないよ。

目が合えば目で恋が通じるよ。

まるで心が満たされるようだ。

しかし、心が傾かなければ、

その恋は生まれる前に滅してしまふ。

仲間よ、皆集え、

恋のために同情しながら泣こう。

サガー・アラムピーは一九六二年にこの詩に基づいて旋律を作り、チャリン・ナンタナーコーン（男）とサワリー・パカーパン（女）はデュエットで歌っている。詩自体は非常に有名で

あり、タイでは格言にもなっているが、曲になったことを知っているタイ人は少ないと思われる。『ヴェニスの商人』の日本語訳もあるので、タイ語訳と日本語訳はどう違うのか、原作と日本語訳を紹介する。

原作

A song the whilst Bassanio comments on the caskets to himself.

Tell me where is fancy bred,

Or in the heart, or in the head?

How begot, how nourished?

ALL Reply, reply.

It is engendered in the eyes,

With gazing fed, and fancy dies

In the cradle where it lies.

Let us all ring fancy's knell.

I'll begin it — ding, dong, bell.

日本語訳（大場健司訳）

歌。その間バサーニオは箱を見比べて考えている。

上べの恋はどこで生れる、

心の中でか頭の中でか、

どうして芽生えてどうして育つ。

一同 答えて、 答えて。

上べの恋は目で生れるのよ、

見つめて育って消えて行くのよ、

生れて育つた目の揺りかごで。
さあさ鳴らそよ、お申いの鐘、
みんなも合わせて、そらデイン、ドン、ベル。

もう一曲『タイは力を合わせる』は、ラーマ六世が一九二二年に創作した韻文形式の『プラ・ルアン物語』から来ている。抜粋された部分は、タイ人たちが協力し合って支配してきたクメールと戦い、自ら解放を遂げたシーンであり、詩・歌詞は次の通りである。

タイは力を合わせれば、強い防衛力が生まれる。

敵はどんなに強くとも、どんな攻撃をしかけてこようと、跳ね返されて逃げてしまふ。

ただ我々はお互い仲を違えないよう、重要なのは力を合わせ心を合わせることだ。

タイは自身に対して悪意を持たず、打ち壊さないよう、心を團結させ、

力を團結させ、国家を守ろう。

他国に褒め称えられ、名誉も大いに称賛されよう。

だから、タイの名を全世界に轟かせるために、力を合わせ、繁栄をさせていこう。

国と宗教を栄えさせるためなら、何も厭わず心を合わせよう。

大地と空が減びるまで、繁栄せよ、タイ、万歳！

愛国心を鼓舞する為に、近代タイ音楽界に強い影響を与えたウア・ストーンサナンがこの詩を行進曲として作曲し、自

身がリーダー役を務めている音楽集団「スタラーポーン」で演奏した。

二. 文学作品の文章を利用し言葉を若干調整した曲

文学作品由来の歌謡曲の中で、最も有名なのは『海誓山盟』(Sea and Mountain) という曲であろう。タイの文豪であるストーン・プーが一八二〇年代に著したファンタジー作品『プラ・アパイマニー物語』由来の曲である。この曲は、主人公のプラ・アパイマニーがラウエーン王女に求愛する際、彼女にたとえ大地、空、海が減びても、いつまでも愛し続けると約束しているシーンである。物語の中でもこの部分は非常に有名な二連の詩である。歌詞の意味は次の通りである。

大地、空、海がなくなろうとも、

この愛と絆は永遠である。

たとえ地下でも海の下でも生まれても、

(原作…たとえ空の下でも海の下でも生まれても、)

貴女と必ず巡り会いたい。

たとえ冷えた肌は大海原であつても、

私は魚として貴女に会わせてもらいたい。

たとえ貴女が蓮華であつても私は蜂になり、

その蓮華に近づいて触れ合う。

たとえ貴女が美しい洞窟であつても、私は白鳥になり、

飛び込んでいき、共になる。

(原作：君が美しい洞窟であっても、

私は師子王になり、その洞窟に入り込み、共になる。)

どこまでも美しい貴女に付いていきたい。

生まれ変わる度、毎回愛しい貴女の伴侶でありたい。

作曲者のスラポン・セーンエークは詩の一部を曲に合わせ調整し、メロディーを付けた。歌詞として下線部の内容だけでなく、声調が調べに当てはまるように、細かい言葉もいくつか入れ替えられた。一九五〇年に作られたこの曲の初めての歌い手はプリーチャ・プンヤキアットだったが、後に人間国宝のチャリン・ナンタナーコーンを含め、様々な歌手にカバーされた。

三. 文学作品の文章を歌詞の一部として採用し追加作詞をした曲

次の曲『プラ・ロー賛歌』は、タイの『ロミオとジュリエット』と呼ばれている著者不詳の『プラ・ロー物語』という有名な伝統文学から影響を受けた作品である。主人公のプラ・ロー王は美しい王子である。敵国にいる姉妹のプラ・プアン姫とプラ・ペーン姫はそのプラ・ロー王に惚れてしまい、様々企みを利用して、既婚者であるプラ・ロー王への求愛に成功したが、最終的に三人とも殺害される。曲になった内容はプラ・ロー王の立派な姿の描写していることから、『プラ・ロー賛歌』という曲名が付けられた。歌詞の日本語訳は次の通りである。

(語り)

インドラ神のような姿で、

人々にその姿を見せるため、この世に降りてきた。

さすが美しいプラ・ロー王である。

彼の心はカーロン河より勝る。

象に乗っている時はとても逞しく勇敢である。

交戦中の偉大な師子王より勇ましい。

この世に、天から降りてきたような彼に敵う者はいない。

(歌)

天からこの世に降りてきた、月のように美しい、

インドラ神のような容姿である。

大地でも天国でも、どの男よりも素晴らしい。

女性たちは惚れてしまい、恋の虜になり、何をするのも厭わなくなってしまう。

その男は、プラ・ロー王という名で、心を奪ってしまう。

カーロン河は彼の心の強さの半分にも敵わない。

象に乗っている時はとても逞しく勇敢である。

偉大な師子王のごとくである。

常勝であるのは戦争ばかりでなく、

恋の戦いにおいても彼は威風堂々たるものである。

高貴な女性はその温もりに触れようと決める。

天から降りてきたような、この男に敵う者はいない。

この曲は、日本の演歌に似た、よく小節を使いこなす「ルークトウン」という曲として一九六九年に作られ、特徴として「語り」と「歌」と二部に分かれることである。作曲と作詞を努め

たパヨン・ムックダーは冒頭の「語り」(下線部)に歌詞として原作の詩を導入し、「歌」の部分を新たに追加した。歌い手のチンナコーン・クライラート(男)はこの曲のおかげで一世を風靡した。

四. 文学作品による発想に基づき作詞した曲

文学に見られる発想に基づいたタイの曲は少なくないが、歌詞に使われている言葉が文学作品の文章と異なるため、その曲を聞いて曲の由来に気づく人は多くない。典型的な例は、一八〇〇年代の初め、ナリントンティベートが創作したと思われる『ナリン・カムクロン紀行詩』の一部に見られる発想から生み出された『誰でしょう』(Perthana)という曲である。原作はタイの紀行詩の習慣に従って、詩人が恋人から離れた際の悲しみや愛しさを嘆く内容を中心とした作品である。詩の一部はその気持ちをどうしても表現しきれない内容があり、それは『誰でしょう』のモチーフになったと思われるが、歌詞のテーマは男女の恋愛話ではなく、次の通り親子の愛情と親の恩に変えられた。

私達を自分の命ほど愛してくれるのは誰でしょう。

いつまでも変わらず親切にしてくれるのは誰でしょう。

私達を外見だけでなく、愛してくれるのは誰でしょう。

飽きずに愛し続けて、傷つけないのは、誰でしょう。

私達が悲しんでいることを心配してくれるのは誰でしょう。

私達をずっと慰めてくれたのは誰でしょう。
私達を腫のように愛してくれるのは誰でしょう。
その愛は大地よりも空よりも広大だ。

この地球をペンとして、空を紙の代わりにして、
全ての海水をインクにして、その恩を書き表しても、書ききれはしない。

私達を自分の命ほど愛してくれるのは誰でしょう。

肩車してくれたのは誰でしょう。(お父さん、お母さん)

四つのスクリーンがある映画を見ようと誘ってくれたのは誰でしょう。

分かったなら、ためらわずにすぐ親孝行をしましょう。

下線部は文学作品による発想だと思われる。また「四つのスクリーンがある映画」とは蚊帳のことを指す。蚊帳は周囲が四面で囲まれており、親は子供を寝かせる際、蚊帳の中に入り、子供に映画を見ようと誘うことから、このような表現をする。しかし、現在、網戸の普及によって、蚊帳を使う家庭が減っている。この表現を理解できないタイ人も少なくない。

一九五五年に発表されたこの曲はスラポン・トーナワニックが作詞・作曲を努め、サワリー・パカーパン(女)が歌い手だった。それ以来、文学作品から影響を受けたことを知っている人が少ない『誰でしょう』は、母の日の定番曲になっている。タイ人なら、この曲を聞いたことがない人はいないと言えるほど、今でも非常に有名な曲である。

結び

歌謡曲の題材になったのは主として伝統文学であり、それは現代文学には見られない現象である。現在、伝統文学の作品をモチーフとした新曲はまだ作られ続けているので、芸術局が二〇〇七年に発表した六十七曲より、曲の数は多くなったのに違いない。つまり、タイ人は伝統文学に魅了され続けていると言える。それに、嬉しいことに、ユーチューブの到来によって、若い世代でも五〇年代や六〇年代の曲を簡単に聞けるようになり、文学作品由来の曲の蘇りにも貢献している。

このように上記の代表的な曲から、文学作品の影響を受けた曲は様々な内容があることが分かった。「愛」は主なテーマになっている傾向にあるが、「愛」と言っても、色々な種類があり、少なからずここでは、男女の恋、愛国心、そして親子間の愛情と親孝行である。更に挙げられた曲の中に、『恋』のように元になった作品の方がよく知られる曲があれば、『誰でしょう』のように曲の方が文学作品より幅広く知られている曲もある。いずれにしても、こう言った曲は、歌詞として利用されている言葉が美しく、比喩表現に富み、その内容と発想も興味深いと思われるからである。

参考文献

タイ語

Fine Arts Department (กรมศิลปากร) 2007.

วิฑูรย์ : วรรณคดีในวงเล็บ ใน วรรณคดีในวงเล็บ (『バンドゥ

リー「文学と歌」その二「タイの歌謡曲におけるタイ文学」、Bang-

kok: Fine Arts Department.

Office of the Royal Society (ราชบัณฑิตยสถาน) 2014.

นันทวณิช : วรรณคดีในวงเล็บ ใน วรรณคดีในวงเล็บ (詩人の言

葉の解説) Bangkok : Office of the Royal Society.

日本語

ウィリアム・シェイクスピア 『ヴェニス商人』大場健治訳、二〇〇五年、

東京：研究社